



千葉県高等学校PTA連合会

ちば高P連だより

第82号

〒263-0011 千葉県千葉市稲毛区天台町2-8-5
 県総合スポーツセンター宿泊研修所内
 TEL 043(255)0687 FAX 043(255)0681

URL: <http://www.chikoupren.jp/>
 E-mail: chibakoupren@nifty.com



令和元年十一月二十二日(金)
 千葉県教育会館大ホールにて、第五十五回千葉県高等学校PTA研究集会が開催されました。千葉県教育委員会教育長澤川和宏様をはじめとする御来賓の方々にご臨席を賜り、又県内PTA会員も多数参加していただき、盛大な会となりました。

講演は「税のお話」について、桜頼パートナーズ会計小高事務所税理士の小高正之様にお話いただきました。小高様は、東京国税局勤務などの経歴があり、むしろかしいお話になるのかと思いましたが、大変身近な軽減税率などを中心に分かりやすくお話しいただきました。ただ、軽減税率はなかなか



県高P研究集会報告

県高P連副会計 山田 美智代
 (千葉県立船橋古和釜高等学校PTA副会長)



か複雑で、深く追求すればする程分かりづらい物になる事も興味深く感じました。講演の最後には、ジェラル

ミンケースに入れたダミーのお札の重さを確かめるために出来た長蛇の列が印象的でした。「税」はどちらかと言うと敬遠したくなる話題でしたが、少し身近に感じた時間となりました。

午後は、発表校四校の代表者の皆様から、発表がありました。それぞれPTA活動との関わりについての発表だったのですが、各校共に大変特色が強く、とても熱くPTA活動をされている様子を感じました。学校ごとに環境が違うので、必ず真似が出来ることではないと思いますが、これからのPTA活動の参考になるヒントがあったのではないかと思います。発表校の皆様、準備から発表まで大変なご苦労があったと思います。誠にありがとうございました。



市川地区研究集会報告

千葉県立市川昂高等学校PTA会長

米倉正敏

令和元年度市川地区筆頭理事校の市川昂高校です。本年度の市川地区研究集会は、十二月三日(火)に千葉県商科大学にて開催されました。内容は、例年どおり講演及び各校活動報告の二本立てです。九校(市川工業、国府台、国分、行徳、市川東、市川昂、市川南、浦安、浦安南)より百三十一名の方々に参加していただきました。

講演は二部形式になりました。最初に「千葉県商科大学の考える実学教育について」という演題で、

千葉県商科大学副学長 榎岡源一郎先生、次に「これからの社会に必要な人材と入試改革について」という演題で、千葉県商科大学入学センターオフィス入学センター長・入試広報部長 出水淳先生よりお話を賜りました。千葉県商科大学は、本地区にある、いわば地元の大学にもかかわらず、普段は内情まで知る由もありませんが、榎岡先生のお話を聞くにつけ、一種、親愛の情が鬱勃と湧いてきました。また、出水先生の講演は、大

学進学志望の高校生を持つ保護者全般の視点からのお話で、最新の入試情報等が含まれ、示唆に富んでいました。



各校活動報告の時間では、各校のPTA代表十名程度が、一校ずつ登壇し、日頃の活動内容を四分以内で発表しました。それぞれの学校の事情に合わせ、工夫が行われているものだと、感じ入りました。少なからぬ数の質問もあり、能動的な雰囲気での進行でした。

最後に、林事務局長より、講評とともに、これからのPTAは、父母と教師と地域との共同体の形、PTCAという姿に変貌しつつある旨のお話がありました。父母、教師、そして地域が加われば、子供たちには申し分のない教育環境を提供できると思いました。

無事、終了しました。他校の方々より、身に余るお褒めの言葉をいただき、恐縮しています。この場をお借りしまして、関係者の方々にお礼申し上げたいと存じます。



東総地区

千葉県立旭農業高等学校PTA会長 時野谷 利行

千葉県立旭農業高等学校におけるPTA活動を紹介します。

六月・十一月の二回各五日間に渡って、PTAの本部役員と学級委員が登校指導を実施しています。

昇降口に先生方と一緒に立ち、挨拶をしたり、服装のチェックを行っています。

東日本大震災後にもなう津波の復興活動として、旭市の海岸の防災林再生のため、生徒たちが植林とビーチ・クリーン活動を行い、そのお手伝いもしました。昼食にはPTA役員を中心に学校の農産物を中心とした学校給食の提供を行いました。

物と卒業生から提供された食材を用いて豚汁を作り、参加者に配布しました。

文化祭では、毎年農産物と焼き芋の販売をしています。PTAで販売する農産物は保護者や卒業生の農家に協力してもらい、多くの農産物をそろえています。PTAの販売は大盛況で、来校される地域の方々に好評をいただいております。

これからもPTAとして、できる限り多くの活動に関わり、子どもたちの活動の様子や姿を見守ります。

君津地区

千葉県立天羽高等学校PTA会長 茂手木 勝浩

君津地区の列車内指導は内房線の浜金谷〜五井、及び木更津〜久留里間で実施しています。

各校の取り組みとして学期ごとに一度、教員とPTA会員が協力して最寄り駅から二〜三駅乗車し車内指導を行っています。

二期期の列車指導については、台風十五号の影響で内房線が動かず休校になった為に実施を中止した学校がほとんどでした。

一学期に行われた車内指導では学生全般的にマナーが良くなっているとの報告もある一方で、



リュックタイプのバッグの取り扱い方で改善点もあるという意見もみられました。特に久留里線にお

ていきます。学校での子どもたちの姿を見ることは、先生方との接し方や学校教育への理解などにもつながっており、一人でも多くの保護者に学校との関わりを持つてもらう、学校行事や地域活動を通してPTA活動を盛り上げ、学校と連携して子どもたちを成長させていきたいと思います。



いては、下校時二両編成なので混雑してしまい一般の利用者に迷惑をかけてしまっているのではないかと心配する声もあがっています。

また、優先席でスマートフォンを操作する高校生が案外多いという意見もあがってきましたが、それ自体は悪い事ではないので、もし必要な方が乗車された場合は率先してお譲りして頂きたいと思っています。乗車指導を通して生徒だけでなく我々大人が見本となる事が絶対的に必要であり、公共機関を利用するすべての人がモラルとマナーを守り、気持ちよく利用していきたいとおもいました。

成田北高校PTA活動について

千葉県立成田北高等学校PTA会長 高橋 哲



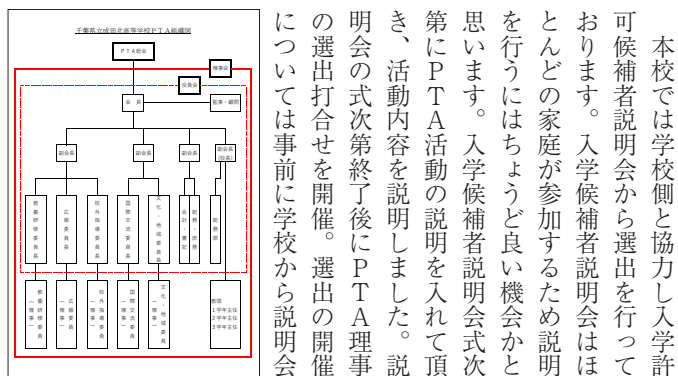
本校は全日制の課程、普通科の学校です。令和元年度は二十二クラス、八百七十九名の生徒が在籍しています。「自律」「協調」「健全」を掲げ社会で求められる力を養っています。令和二年度には創立四十年、また「医療コース」がスタート致します。

今回は本校PTAの活動の一部、PTA理事の選出についてご報告させて頂きます。

日程内に組み込んでいたでいておりました。

選出については卒業中学校をエリア毎にまとめた。令和元年度入学許可候補者の七クラス約三百名を八エリアに分け約三十名〜四十名を一つのグループとし、知っている保護者同士でPTA活動へ参加しやすくなりました。各グループは指定の教室に移動し現理事さんから説明を行って頂きました。

ます。



本校では学校側と協力し入学許可候補者説明会から選出を行っております。入学候補者説明会はほとんどの家庭が参加するため説明を行うにはちょうど良い機会かと思えます。入学候補者説明会式次第にPTA活動の説明を入れて頂明会の式次第終了後にPTA理事の選出打合せを開催。選出の開催については事前に学校から説明会

理事選出は参加の意思を表明された保護者への委員会に参加したいのか希望を伺うため登録用紙を作成しています。この登録用紙を元に現理事さんと役員さんで各委員会の人数を調整します。また同時に新一年生の代表、PTA副会長候補を役員内でまとめ入学式前までに依頼を行いました。

無事担当の委員会、新一年生の代表が決まり、入学式当日に決定した委員会を発表し各委員にて連絡先をまとめ新年度のPTA総会にあたりました。

令和二年度も同様に理事選出を実施し先生方と協力して生徒に寄り添ったPTA活動をすすめていきたいと思っています。

令和〇〇年度1学年PTA理事登録用紙				
お子様の受験番号()				
氏名	学年	性別	保護者	文化地区
PTA活動に参加される方の氏名				
ご所属の所属地区(学年やグループは記入不要)				
所属の地区				
所属の地区				
お子様の住所				



つなぐ

千葉市立稲毛高等学校放送部 田村 紗彩

私たち千葉市立稲毛高校放送部は、昼の放送や学校行事時の放送機材の調整を中心に行っている部活です。部員のほとんどは高校に入学するまでは放送経験がありませんでしたが、稲毛高校で開催される放送講座や大会に参加をし、経験をつむことで放送経験者の方々と差がつかないように日々努力しています。

また、長期休み期間中に他校が主催する合宿に参加をし、講演を聞いたり、直接指導を受けることで個人の能力を高めています。

普段は、アナウンス・朗読チームは発声、滑舌練習や体幹トレーニングを行い、技術チームは、大会にエントリーする作品の制作をしています。

昨年度は第六十六回NHK杯全国放送コンテスト朗読部門で全国大会に進出し、今年度は、千葉市幕張で開催されたシビックパワーバトルオープンガバメント推進協議会二〇一九で協議会賞をいただきました。

放送部は夏季と秋季の年二回大会に出場しています。大会では「読み」と「技術」の大きく二つに分かれています。「読み」ではニュース原稿を作成し発表する「アナウンス部門」と本を選び読む「朗読部門」があります。それぞれ声量、アクセント、表現などを競い合います。「技術」



にはドキュメント制作とドラマ制作があり、主に動画を作っています。

「ドキュメント部門」では実際にアポイントメントを取って取材を自ら行い得た情報、映像を編集して一本のドキュメント作品にしたものを発表します。「ドラマ部門」では台本、構成、カット割りを決めて作ったフィクション作品を公開します。

今年の結果は私たちの先輩方が引き継いでくださった練習方法や功績のおかげだと思っています。先輩方から教えていただいたこと、学んだことをこれからも継承し、大会上位常連校になれるようこれからも練習を重ねていきたいです。

今を輝く

高校生の声



ゼロからのスタート

千葉県立東葛飾中学校・高等学校 フェンシング部 田中 智也

私たち千葉県立東葛飾高等学校のフェンシング部は、歴史と伝統のある部活動です。昭和二十六年に創部されてから数々の全国大会優勝者や入賞者を輩出してきました。また、本校体育館は昭和四十八年の若潮国体の会場にもなっています。現在では部員二十八名で中高一貫体制で活動しています。

もともと中学校ではサッカーを競技していた私は高校入学後、何か新しいことに挑戦したいと考え、フェンシング部の扉を叩きました。入部まではフェンシングにはエペ、フルール、そしてサーブルの三種目あることも知らない位だったので、はじめはルールもわからず、同年代の他校の選手との練習試合でも惨敗続きでした。そこで私は受け身だった日々の取り組みを改め、自分で考えることを大切にするようにしました。そして自分の性格、身体的特徴を考え、上半身が有効面で、斬りも有効打となるサーブルを専門的に競技するようにしました。そうすると少しずつ全国的な大会に出場するだけでなく、結果を残せるようになっていきました。



更なる成長を促してくれたきっかけは、年代別の日本代表として、台湾遠征に参加したことでした。海外の選手の競技レベルの高さだけでなく、試合にかける積極性に衝撃を覚えました。いつか日本を代表してより高いレベルで戦っていききたい、と強く思うようになりました。帰国後は学校の練習はもちろん、学校外では大学生などの練習に意識的に参加するようにしました。そして自分だけでなく、チームのレベルアップをするにはどうすればいいのかを考えて、リーダーとしての振る舞い方も意識して身につけるよう努力を重ねました。

こうした結果、U17の日本ランキングで八位に入ることができました。そして、南九州インターハイにおいて第三位になることができました。このような成績を残せたのは、共に戦ってきた仲間や、ご指導いただいた顧問の先生の存在があったからです。そして、良い時も苦しい時もサポートしてくれた家族の存在があったからです。私は大学でも競技を続けていきます。これからもゼロから千葉県に育ててもらったことを忘れず、日本、世界を代表する選手になれるように努力を続けていきたいと思っています。



第一部門 英語による弁論

一位 島田 葉子

(渋谷教育学園幕張高校)

「Your Cup of Coffee」

二位 伊東 彩声

(松戸国際高校)

「A friend in need is a friend indeed (beyond the prejudice)」

三位 田中 優希 (東金高校)

「Continued Learning」

第二部門 留学生による弁論

一位 俞 心形 (生浜高校)

「マラリアと国際協力」

二位 サポコタ アンキット バハ

ドゥール (市立松戸高校)

「僕と涙と日本とネパール」

三位 河 恩珍 (翔凜高校)

「蚊取り線香から始まった国際理解」

第三部門 日本語による弁論

一位 田板 桜 (東金高校)

「ポリタンクをランドセルにする魔法」

二位 幸田 健吾

(松戸国際高校)

「あるべき当たり前」

三位 吉田 野乃 (翔凜高校)

「地図からみる国際交流」

若者の「働きたい」を応援します！ ～ちばの就労支援施設～

ジョブカフェちば

若者のシゴトと進路応援します！

正社員採用を希望する概ね30代までの若者を対象に、総合的な就職支援を行っています。就職に関する悩み相談やセミナー、企業との交流会、併設するハローワークでの職業紹介など、就職活動に役立つサービスが満載です。



セミナーで仲間と一緒にスキルアップ

<サービスの例>

●就職基礎ガイダンス

就職活動の進め方や、必要な基礎知識を身に付けるガイダンス。

●各種セミナー

自分の特徴に気付くところからはじめ、採用担当者の視点を理解した自己PRの書き方、志望動機の作成や模擬面接まで丁寧にサポート。

●交流・企業訪問イベント

企業を訪問し、仕事を体験することで、会社や社員の雰囲気を知ることができるイベントなどを開催。

所在地 船橋市本町1-3-1 フェイスビル9F

利用時間 月～金曜日 9時～18時

休館日 土・日曜日、祝日、年末年始

☎ 047(426)8471



ちば地域若者サポートステーション

一歩踏み出す力を応援します！

働くことに悩みを抱えている無業の若者とその家族の就労を支援しています。「働きたいけど、どうしたらよいかわからない」「自信が持てず就活に一歩踏み出せない」「コミュニケーションが苦手な働くのが不安」などの悩みをお持ちの方の『働く』一歩を応援します。



合同企業説明会の様子

<支援の例>

●個別相談、心理相談

キャリアコンサルタント、臨床心理士等による面談。

●職業的自立支援プログラム

職業観の醸成や就労のために必要なビジネススキルを獲得。

●合同企業説明会

働く一歩がなかなか踏み出せない若者を対象とした企業説明会。

●保護者セミナー

我が子の就労に悩みを持つ保護者の方の会。

所在地 千葉市美浜区幕張西4-1-10 ちば仕事プラザ内

利用時間 火～土曜日 9時～16時

休館日 日・月曜日、祝日、年末年始

☎ 043(351)5531



全国大学生協同組合連合会には、
214の大学生協が加入しており、157万人を超える
学生・院生・留学生・教職員が組合員となっています。

「大学生協について
もっと知りたい!」
という方は、ここから
もアクセスできます!



志望校を決めたら、まずアクセス! きっと役立つ情報が見つかります!

詳しくはホームページをご覧ください。

〇〇大学生協

検索

<http://www.univcoop.or.jp/> ※志望されている大学名を入れて検索してください。

つながる元気、ときめきキャンパス。



全国大学生協同組合連合会



令和元年度 千葉県教育功労者表彰受賞 花島和宏前県連会長

去る、令和元年度十一月一日（金）にホテルポートプラザちばにて式典が行われました。日頃のPTA活動の功績が顕著であり、永年にわたり、PTA役員として精励し、PTA活動に尽力された方に贈られる大変荣誉ある賞です。



令和二年度 主な行事予定

- ・県高P連総会 六月十日（水）
千葉県教育会館大ホール
- ・第六十六回
関東地区高P連大会 群馬大会
七月三日（金）～四日（土）
Gメッセ群馬
- ・第七十回
全国高P連大会 島根大会
八月二十日（木）～二十一日（金）
くにびきメッセ 他
- ・第五十六回
県高等学校PTA研究集会
十一月二十七日（金）
千葉県教育会館大ホール

わが校 自慢

キャリア教育の推進

～地域との連携を深めて～

千葉県立大原高等学校 教頭 渡邊嘉幸

本校は、平成二七年度に大原高校、岬高校、勝浦若潮高校の三校が統合して、新生の総合学科の高校としてスタートしました。三校の良き学びを継承して、園芸、海洋、福祉の科目が本校の総合学科の学びをより一層多様にしています。

そして、その学びの中心にあるのが、系統的・継続的なキャリア学習です。昨年度から第一年度生は「職業人インタビュー」、第二年度生は「インターシップ」、第三年度生は「課題研究」を行い、三年間のキャリア学習が系統的に行われるようになりました。

生徒たちは、キャリア学習を進める中で、自分の将来を考えながら、自問自答の毎日であったと思います。そして、通常の学習や行事とは異なることを認識したことでしょう。「答えがいくつもあある」「答えがひとつもない」「今までの正解が、不正解になる」ことを経験しながら実社会に近づいていきます。

また、昨年度から本格化した取り組みに、地域連携があげられます。第三年度生の選択授業「一般教養」には、延べ五〇人を超える地域の皆さまが「先生」として関わってくださいました。中には、実習のためにかなり大掛かりな器具を持ち込んでくださる先生、職



挑戦とともに
140th

挑戦の数だけ、
保険がある。

To Be a Good Company

東京海上日動
TOKI MARINE
NICHIDO

SOMPOホールディングス | 保険の先へ、進む。
損保ジャパン日本興亜

保険の
先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜は
SOMPOホールディングスの一員です。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
千葉支店 千葉中央支社
〒260-0026
千葉県千葉市中央区千葉港 8-4
Tel: 043-243-3098
https://www.sjnk.co.jp/

日米の高校生の異文化交流と相互理解
をテーマに、『AIG高校生外交官渡米プ
ログラム』として、毎年夏休み期間中の約
3週間、日本の高校生を高校生外交官
として米国に派遣しています。

AIG
AIG損保
AIG損害保険株式会社

〒261-7120
千葉市美浜区中瀬2-6-1
WBGマリビースト20階
https://www.aig.co.jp/sonpo

立ちどまらない保険。
MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の
安心

GK

クルマの保険
住まいの保険
火の保険

www.ms-ins.com

特色ある 生徒の 活動

「探究し、伝える力」を

重視した学校づくり

千葉県立柏高等学校 校長 太田 恭正

県立柏高等学校は、千葉県教育委員会から進学指導重点校の指定を受け五年目、また、文部科学省からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受け三期四年目を終えようとしています。

昨年度、KBP（ケンカシ・ブランドイング・プロジェクト）を立ち上げ、変化の激しい時代に対応した教育に取り組むべく、「学力・学ぶ意欲」「リーダーシップ」「探究し、伝える力」の育成を重視することとしました。中でも、「探究し、伝える力」の育成は、「SSHを学校全体に」というスローガンのもと、SSHの教育活動を活かし、外部の専門機関の協力を得ながら実施し、生徒に教科横断的・総合的な学習に取り組みさせています。これまで理数科一年生のみが行っていた日本科学未来館への校外学習を、今年度から普通科に拡げて実施しました。プレゼンの手法を学ぶことが目的です。普通科生徒は「総合的な探究（学習）の時間」に探究学習を取り入れ、「課題研究」を行っています。理数科生徒は、一年次にさまざまな準備をし、二年次から本格的な「課題研究」を行います。普通科・理数科ともに、研究した成果について、ポスターセッションの形式で校内発表会を行っています。また、外部の研究発表会にも積極的に参加しています。

九月二十八日（土）に、千葉大学で行われた「第十三回高校生理科研究発表会」で、本校生徒三名の研究「錯視を数値化し要因

を探索」Jastrow 錯視における錯視量の変化について「が最優秀賞を受賞しました。研究発表の数は、三百八十五件で過去最多でしたが、その頂点に選ばれたのです。この研究は、昨年度からの継続研究です。受賞後に話を聞くと、「昨年度はJastrowが言っていることを当たり前として研究を進めたが、今年度は、Jastrowが言っていることは本当なのかと疑うところからスタートした。受験勉強もあり、また、土日はできないので、平日の放課後に研究の時間をとった。発表の二・三週間前からは、かなりの時間を費やした」と話してくれました。多くの教科・科目の授業で、自分の考えを整理し、伝え合う場面が設定されるようになりました。今年度は、研究を始める段階で、一年生は、自分たちの班の研究の進め方を説明し、二年生がアドバイスをを行う、交流の場を設けました。今後、教育活動を通して、また、生徒同士でも「探究し、伝える力」を高め合える環境をつくりたいと思います。



小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険®

対象となる事故

団体・グループ活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間

令和2年4月1日午前0時から
令和3年3月31日午後12時まで

補償内容

補償内容は、加入区分によって異なります。
詳しくは、ホームページなどをご覧ください。

4名以上の団体・グループで
ご加入ください。

例 A1、C、A2区分 の場合	死亡保険金：2,000万円 後遺障害保険金：3,000万円（最高額） 入院保険金：4,000円/1日 通院保険金：1,500円/1日（30日限度）
※事故の日からその日を含めて180日以内の死亡、後遺障害、入院、手術、通院が対象となります。 ※上記に加え、賠償責任保険、突然死葬祭費用保険も付帯されています。	

加入区分・掛金

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)
子ども (中学生以下) ※特別支援学校 高等部の 生徒を含む	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動（指導・審判を含む） ※右記年齢の判断は、「令和2年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。 ※A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円
		B 65歳以上	1,200円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ※スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ（指導・審判を含む）	D	11,000円

年間掛金には、制度運営費（10円）が含まれます。

公益財団法人 スポーツ安全協会 千葉県支部

（公財）千葉県スポーツ協会内）

TEL 043-254-0075

電話受付時間 午前9時30分～午後5時（土、日、祝日及び年末年始を除く。）

〒263-0011 千葉市稲毛区天台町323
千葉県総合スポーツセンター



保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。
※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険

検索

この広告はスポーツ安全保険の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら（公財）スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険（株）までお問い合わせください。

（引受幹事保険会社）

東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346（平日9:00～17:00）

（共同引受保険会社（令和2年4月予定））

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜
大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

2019年12月作成 19-TC05719